

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

2026年(令和8年)3月26日

札幌市立美香保中学校

1 学校経営の指針

「共に創る豊かな学び」の推進

2 目指す学校像

ばらばらで一緒 ～みんながみんなの中で自由に自分らしく生きられる学校～

3 目指す生徒像

『粘り強く挑む生徒』『心をつなぐコミュニケーションを図る生徒』

4 自己評価結果

A:十分である B:概ね十分である C:やや不十分である D:不十分である

評価項目	達成状況	学校関係者評価	
		自己評価の適切さ	改善策の適切さ
()は学校評価アンケートにおいて、概ね出来ていると判断した教職員の割合			

【相互承認(「ばらばらで一緒」)】

<ul style="list-style-type: none"> ・自分や自分とは違う他者を大切にして、みんながみんなの中で自由に自分らしく生きられるような教育活動を推進している。 ・周囲の人と協力しながら、互いに高め合う生徒を育てている。 ・様々な諸活動や行事に対して、前向きに取り組む生徒を育てている。 	A (87.6%)	A	A
(改善の方策) 今後も「みんな違う」を原点として多様性を認め合い、「本物の経験」を通して、「自由」と「共生」を学ぶとともに、責任ある行動をとる力を身に付けられるよう、全教職員が子どもの声を聴きながら指導に取り組む。			

【学ぶ力の育成】～自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力～

<ul style="list-style-type: none"> ・課題探究的な学習(AARサイクル)、自治的な活動の推進を図っている。 ・「粘り強く挑む力」「心をつなぐコミュニケーション力」を育てている。 	A (85.9%)	A	A
(改善の方策) 今後も本校が重視する2つの力の育成を全ての教育活動のねらいに位置付け、認知能力と非認知能力の育成に努める。			

【健やかな体の育成】

～生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに積極的に心身の健康の保持増進を図る資質・能力～

<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全に気を付けた生活を送ることができるように支援をしている。 ・授業以外で自分から意識して体を動かそうとする機会を創出している。 	<p>A</p> <p>(93.8%)</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>(改善の方策)</p> <p>今後も自治的な活動による美中オリンピックの充実など、「健やかな体」育成プログラムに基づく実践を図る。</p>			

【豊かな心の育成】～他者を思いやる心、生命を尊重する心、自然や美しいものに感動する心～

<ul style="list-style-type: none"> ・場や状況に応じて、自ら考えて正しく行動できる力を育てている。 ・お互いの個性や立場、生命を尊重し合い、よりよい生き方ができるように、教育活動全般において意識して指導に努めている。 	<p>B</p> <p>(81.3%)</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>(改善の方策)</p> <p>「特別の教科道徳(道徳科)」を要とし、学校の教育活動全般を通じて、生徒が互いを尊重し、支え合い、よりよく生きようとする態度を育む。また、校内研修を通して、多様な道徳的価値を自由に表出できる、考え議論する道徳の授業づくりに教職員全体で積極的に取り組んでいく。</p>			

【いじめ防止】

<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめは絶対にしない・させない・許さない」という意識の醸成。 ・相談しやすい環境の整備。 ・「いじめの早期発見」につながる生徒への日常の声かけや、いじめ対策委員会を中心とした組織的な対応をしている。 ・発達支持的生徒指導や未然予防的生徒指導に努めている。 	<p>A</p> <p>(90.0%)</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>(改善の方策)</p> <p>今後もいじめ防止基本方針を基に、発達支持的生徒指導に重点を置き、いじめ対策委員会を軸に組織的に生徒を支援する。また、毎日の生徒の状況把握に努め、相談しやすい環境づくりに努める。</p>			